

# かけはし

氷見

KAKEHASHI HIMI

| 広 | 報 | 誌 |



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌



TOPICS ●トピックス

## 第8回 地域医療懇談会

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

上目寺の大イチョウ (氷見市朝日本町)

### CONTENTS ●もくじ

TOPICS 第8回 地域医療懇談会	P.01
特集 第42回 富山県国保地域医療学会	P.03
齋藤先生の診察室から	P.05
診療コラム	P.06
病院★ニュース	P.07
病院からのお知らせ掲示板	P.08
まちかど情報	P.09

### 病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



第8回

金沢医科大学氷見市民病院

地域医療懇談会



第8回金沢医科大学氷見市民病院地域医療懇談会が、平成27年10月24日(土)に氷見市内の「くつろぎの宿 うみあかり」で開催されました。今年は地域の21医療機関・施設から22名の病院長、施設長等が出席され、当院からは高島茂樹最高経営責任者、齋藤人志病院長をはじめ副院長、診療科長等約60名が出席しました。今回は歯科医院、小児科医院からも多く出席していただきました。

この会は、地域の病院、医院、介護施設等との医療連携を強化・充実することを目的に毎年開催されています。

懇談会では、はじめに齋藤病院長から、「この会も8回目を迎え、ますます氷見市を中心とする医療連携を充実していきたいので、皆様には忌憚のないご意見を聞かせていただきたい。」との挨拶がありました。

引き続き、今年度の当院の実績や行事等の報告と、今後の事業計画についても説明がありました。その他、病院の新役



新任医師の紹介

職者と本年度の新任医師の紹介がありました。

次に当院二つの診療科から「最新の治療法と治療の実際」として診療紹介がありました。

はじめに脳神経外科の高田久教授から「最新の脳血管内手術療法」と題して、脳血栓治療、脳動脈瘤治療について新しい治療デバイスを用いた治療法の説明がありました。スライドに動画をふんだんに交えながら実際の治療前の脳内血流状況、治療後の改善状況、また、血管内での治療デバイスの動き等をわか



脳神経外科高田久教授の講演

りやすく解説されました。

次に、整形外科の池淵公博准教授・院長補佐からは「当院における骨粗鬆症治療の実際」と題して、前半は骨粗鬆症（本年ガイドライン改訂）の説明と、当院で行っている治療内容について紹介がありました。治療データからの分析資料の解説や様々な治療例の紹介と効果的な治療方法などわかりやすく説明されました。

骨粗鬆症患者が多いことから出席された先生方からもたくさん質問があり、池淵先生からはひとつひとつ丁寧に説明され



整形外科池淵公博准教授講演

ました。

診療紹介終了後の懇親会では、神田享勉副院長の開会挨拶の後、高木義則氷見市医師会長のご発声で乾杯が行われました。高木会長からは「氷見ではこういった多くの医療関係者が集う機会は少ないので、ぜひとも有意義な時間にしてもらいたい。」と述べられ、出席者の親睦を促しておられました。その後、先生方の意見交換も活発に行われ、和やかな雰囲気の中親睦が深められました。最後に上端雅則事務部長の閉会挨拶で盛況のうち



河合内科医院河合盛光院長からの質問

終了となりました。

今後もこのような会を通じて各医療機関・施設との連携を深めながら、氷見市の中核病院として地域医療に貢献していきたいと考えております。



高木義則氷見市医師会長からのご挨拶



# 特集 第42回 富山県国保地域医療学会 開催

第42回富山県国保地域医療学会が10月31日(土)に富山県高岡文化ホールで富山県内の医療関係者、約300人の参加者により華々しく開催されました。

この学会は県内8病院の国保直診病院(国民健康保険診療施設)が持ち回りで担当病院となり、富山県国民健康保険団体連合会等が主催となつて開催しています。今年度は当院が当番病院で、齋藤人志病院長を大会長として富山県国保連合会と協力して学会の管理・運営を担当しました。今回の学会の統一テーマは「地



学会大会長齋藤病院長から開催の挨拶

域包括医療・ケアにおける国保直診病院の役割とは、地域における絆、連携」と題して行われました。まず、最初に大会長の齋藤病院長から「2025年に向けた医療改革ロードマップの中で地域医療構想が中心にあり、今後の病院経営はこの変化に柔軟に対応していく事が必要となるが、今、私達には何が期待されているのか、これから我々は将来に向けて何をすべきなのかについて、国保直診病院が協力してこの難局を乗り越えていきましよう」と開催の挨拶がありました。



国保診療医療部会長  
麻野井射水市民病院長ご挨拶

続いて、主催者挨拶、祝辞のあと特別講演が行われ、「地域医療構想について」と題して富山県厚生部長の井内努氏より講演を頂きました。井内厚生部長は「地域医療構想については、病床機能報告制度を踏まえ、今後の県としては各医療圏と協力して調整して進めていく」との説明がありました。



特別講演 富山県厚生部 井内努部長の講演

次に研究発表が行われ4題の発表があり、介護福祉士、薬剤師、看護師、言語聴覚士の立場からそれぞれの職種が地域における医療への取り組みについて興味深い内容の発表がなされ、会場からも多数の質問がありました。午後からは、神田享勉副院長を座長に、「地域医療を効果的に進めるには」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当院から、リハビリテーション部の久保田徹作業療法士が「当院における通所・訪問リハビリ



パネルディスカッション座長  
総合診療科 神田享勉教授



パネルディスカッション助言者  
富山県高岡厚生センター氷見支所  
松倉知晴支所長



パネルディスカッション助言者  
南砺市政策参与 南真司先生

「テーションの取り組み」と題して、在宅においてもリハビリを継続して行うことの必要性や、医療と保健福祉の関係機関が連携しながら、患者さんに合わせ

た「生活環境の連続性を確保」することの大切さが発表されました。また今後の課題として、関係機関との連携を密に行い、もっと深刻化する高齢化社会において、在宅での生活が円滑に過ごせるサービスの提案ができる体制づくりに取り組みたいと発表しました。



当院からの発表 リハビリテーション部作業療法士 久保田徹さん



質問に回答している久保田さん

### 国保直診とは…

「国保直診」は国民健康保険診療施設を略したもので、市町村が国民健康保険を行う事業の一つとして設置されたものです。地方自治体は、住民の福祉を推進する目的で「公の施設」を設置することができ、その一つとして「公立病院・公立診療所」を設置しています。公立の病院、診療所は医療水準の向上や民間医療機関の進出が期待できない地域における医療の確保等の必要性から設置されていますが、国保直診はこれらをつまえて更に、国民健康保険制度を広く普及するため無医地区等の医師不足の地区をなくす目的で設置されています。

また国保直診は、医療機関として医療サービスを提供することは当然ですが、医療に加えて保健（健康づくり）、介護、福祉サービスまでを総合的、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」拠点としています。

この他4名が発表された後、助言者の方々と交えながら「地域医療」と「連携」を強化する必要があるなど活発な討議が行われ、会場も一緒となり盛り上がりました。

その後、研究発表とパネルディスカッションから優秀発表者が表彰され、盛況のうちに終了しました。

今回の学会を管理運営するにあたり、関係機関の方々にご協力頂き心から感謝しています。



# 齋藤先生の 診察室から

腎臓内科科長  
血液浄化センター長

## 齋藤 淳史

ATSUSHI  
SAITO



### ●腎臓病ってなに？

みなさんは腎臓病について、興味を持たれたことはありませんか？腎臓病と聞くと血尿やタンパク尿が思い浮かぶ方が多いと思います。これらは「糸球体腎炎」に分類される病気で小児にみられるネフローゼ症候群や慢性腎炎などがこれにあたります。おもに血液から原尿を作る部分の炎症によって、血液やタンパク質が尿に取りこぼされていく病気です。ほかには「間質性腎炎」といって膠原病などの全身性の疾患や薬剤による障害の際に、おもに原尿を濃縮する部分の炎症によって腎臓の働きが悪くなります。また、高血圧や糖尿病などの全身の病気に伴って腎臓の細小動脈が動脈硬化に陥り、血液循環が悪化して腎不全に陥る病状もあります。このように、腎臓自体が病気に陥るものばかりではなく、メタボリック症候群などの病気や治療中の薬剤などによる腎不全も多くみられています。こうして考えてみると、治療されてい

る人々すべてが腎臓のはたらきに注目する必要がありそうです。

### ●検診、受けていますか？

どのような病気でも「いつから」「どんなふう」といった問診が重要です。腎臓病でも問診が重要ですが、このとき「検診の検尿結果」をよく尋ねます。わが国では小児期の学校検診が普及していますし、早期発見、早期治療の考えで職場健診や住民健診、がん検診などが行われています。腎臓病では自覚症状が出にくいこともあり、健診の結果から血尿、タンパク尿の発症時期を判断し診断に役立てています。「検尿に異常がない」という点も後々重要になってきますので、検診のチャンスがあれば、ぜひ受けることをお勧めします。

### ●急速進行性糸球体腎炎とは？

『急性あるいは潜在性に発症する肉眼的血尿、タンパク尿、貧血、急速に進行する腎不全症候群』と定義されている病気です。急速進行性糸球体腎炎をおこす疾患群のうち、近年、特に顕

### ●診察風景

当科では2名の常勤医師と大学からの出張医師とともに約70名の方々の維持透析を担当しています。働き盛りの

微鏡的多発血管炎という高齢者に多くみられる病気が増加しています。速やかに適切な治療を開始しないと、数週から数カ月で透析治療が必要になります。わが国では年間およそ2000人が発症し、その1/4の患者さんで腎死すなわち透析治療が必要になります。おもな症状としては「だるさ」「食欲不振」「微熱」などで、新たに血尿、タンパク尿が出現していることが診断のきっかけになります。ここで「検診のときの検尿には異常がなかったのに」という点がポイントになってきます。治療としてはステロイド剤などの免疫を調節する治療を行います。初期治療には1〜2カ月の入院が必要になります。氷見でも年に2人前後の発症が見られますので、みなさんも検診の際には検尿に異常がないかどうか確認しておくことをお勧めします。

方々への夜間の透析も行っています。血液浄化センターでは、毎日、一人ひとりと回診し、その日その日の体調にあった治療を心がけていることが特徴です。外来診療では、おもに腎臓病専門の外来、特に腎機能の低下した患者さんの診療を行っています。また、一般内科として高血圧、糖尿病、脂質代謝異常症(高脂血症)、心不全など広い範囲の診療も行っています。「医療の専門家」として、時に厳しく指導させていただく事もありますが、どうかよろしくお願いいたします。

### 齋藤 淳史 ★ 略歴

#### 【略歴】

- 平成8年3月 金沢医科大学 医学部卒業
- 平成25年1月 金沢医科大学 博士(医学)取得

#### 【所属学会】

- 日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
- 日本透析医学会 専門医、指導医
- 日本腎臓学会 専門医、指導医
- 日本臨床腎移植学会
- 日本腹膜透析医学会
- 日本感染症学会、ICD (Infection control doctor)
- 日本化学療法学会
- 日本環境感染学会
- 日本医師会(富山県医師会、氷見市医師会)
- 厚生労働省 臨床研修指導医

# 診療コラム

## 病棟紹介

### 4階東病棟

4階東病棟は、回復期リハビリテーション病棟です。脳外科や整形外科疾患の患者さんが多く、日常生活機能向上と在宅復帰をめざし365日集中的にリハビリを行っています。患者さんにはなるべく日中は、私服で生活し、家庭での生活を意識して



もらっています。

朝の申し送り時に、リハビリスタッフと看護師、看護補助員がケアカンファレンスを行い、入棟患者紹介や夜間の異常報告、安静度変更などの情報を共有しています。また、月に一度、主治医とソーシャルワーカー、栄養士なども参加し総合カンファレンスを実施しています。そして、リハビリスタッフと看護師、看護補助員がグループを組み業務活動を行っています。その中でも、離床促進チームは午後のレクリエーションタイムに体操やゲームを行い、楽しい時間を過ごすことが多くあります。

その他病棟行事として、お茶会、お楽しみ会(ホットケーキ作り)、民謡の会、歌の会、回想の会(昔のお菓子や遊びを語る)など行っています。中でも、7月のアソカ合唱団のコンサートはとても好評でした。このように、回復期リハビリテーション病棟では、患者さんに関わる各職種が連携、協働しチームで支援している病棟です。

### 4階西病棟

当病棟は、脳神経外科、歯科口腔外科、皮膚科、小児科、内科全般の混合病棟です。

脳神経外科では、脳出血やクモ膜下出血での血管内手術や開頭術、脳梗塞の疾患が多く、歯科口腔外科では、埋伏智歯の抜歯・口腔内腫瘍手術などの患者さんが入院しています。また皮膚科では、带状疱疹や蜂



窩織炎、薬疹、小児科では、気管支肺炎や感染性腸炎、熱性痙攣、そして内科では、誤嚥性肺炎・胆嚢炎での入院など、さまざまな疾患の方がおられます。また、年齢も0歳から90歳以上と幅広く、緊急の入院の場合もあり日々入退院の多い病棟です。このように緊急入院や手術対象の患者さんやご家族の方が不安なく、安心・安全に治療や療養が受けられるように心がけています。

看護師は、日常生活レベルが向上し、早期に回復出来るように看護ケアを行っています。今年度は、「患者・家族の思いに寄り添い、少しでも早く住み慣れた自宅へ戻れるように退院支援を図ること」を目標にしています。そのために医師やリハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーとコミュニケーションを図り、情報を共有しながらチームでサポートをしています。常にあなたのかい笑顔とやさしい心をモットーに看護の提供に心がけています。





## 平成27年度 在宅医療推進に係る研修会

平成27年9月15日(水)19時より、当院2階合同カンファレンス室にて、「平成27年度在宅医療推進に係る研修会」が開催され、職員、市内の医療福祉関係者約50名が参加しました。講師に、金沢医科大学能登北部地域医療研究所所長 中橋毅先生をお招きし、高齢化社会がもたらす問題や地域医療における今後の課題について、ご自身が構築された地域包括ケアシステムをモデルに講演していただきました。中橋先生は、少子高齢化の著しい能登地域において、過疎地域における医療はどうあるべきかとの問題に真つ向から向き合い、自らが訪問診療に赴き現場の第一線でご活躍されています。



講演では、ご自身の経験から語られる言葉ひとつひとつに、先生のお人柄が滲んでおり、参加者は熱心に聞き入

り、同じ医療従事者として皆それぞれに刺激を受けている様子が伺えました。また、講演後には多数の質問が挙がり、活発な懇談の場がもてました。当院も、能登地域と同様に高齢化社会における課題を抱える中核病院として、今後の課題について考えを深めるとても貴重な時間となりました。

## 回復期リハビリテーション病棟 アソカ合唱団

### 「サマーコンサート」開催

回復期リハビリテーション病棟では、8月26日(水)入院患者さんやご家族の方を対象に、アソカ幼稚園の園児と卒園児が所属するアソカ合唱団をお招きし「サマーコンサート」を開催しました。

子供達は、透きとおる優しい歌声で「ふるさと」や「夏の思い出」など6曲を披露してくれました。途中患者さんと一緒に「おかあさん」の合唱が始まると、とてもやさしい歌声に、幼いころの母を思い出し、職員や家族が涙ぐむ場面もありました。



参加された入院患

者さんは「このよ  
うなイベ  
ントを定  
期的に開  
催しても  
らえる  
と、マン  
ネリにな  
りがちな  
入院生活に活気が出て楽しい。合唱団  
の子供達から元気ももらい、この後の  
リハビリも頑張れる」と嬉しい言葉を  
もらいました。



アソカ合唱団による「サマーコンサート」風景

## 平成27年度 厚生労働大臣表彰受賞 (優良特定給食施設)

平成27年度の優良特定給食施設として当院の栄養部が厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。この表彰は給食の提供を通じて、栄養及び食生活の改善に顕著な功績のあった優良な施設に対して厚生労働大臣より表彰されます。栄養管理・チーム医療を通して患者さん一人ひとりに応じた栄養サポート

を行い、委託給食のシ  
ダックス  
フードサー  
ビス株式会  
社と協力  
し、衛生管  
理をはじめ  
め、新調理  
や高齢者へ  
配慮した食事提供、個別対応等を評価  
していただいた結果です。



受賞式は、平成27年9月27日(日)に開催された「全国栄養改善大会・全国栄養士大会」で行われ、今年も当院を含め全国で17施設が功績をたたえられました。

今後も患者さんのQOL向上のため、さらに充実した給食施設を目指し、スタッフ一同励んでまいります。

## 第2回 院内感染対策講習会

平成27年10月9日(金)17時30分から、当院6階多目的ホールにおいて第2回院内感染対策講習会が開催されました。講師に兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座 主任教授 岸本裕充先生をお招きし、「誤嚥性肺炎(VAPを含む)予防のための口腔ケア・オーラルマ



ネジメント」と題してお話があり、院外施設からの参加者も含め221名が聴講しました。

口腔ケアで一番重要なことは、潤いを保つこと、就寝前のタイム

ングに行くこと、正しい口腔ケアによって、誤嚥性肺炎の予防や経口摂取を支援するなど口腔ケアのポイントについて説明されました。さらに、口腔ケアの難しい患者には、Cleaning（清掃）、Rehabilitation（リハビリ）、Education（教育）、Assessment（評価）、Treatment（治療）、Eat（食べる）、Enjoy（楽しむ）からなるオーラルマネジメント（周術期口腔機能管理）の必要性について説明があり、ぜひ当院でも取り組んでいきたい内容でした。

今回は、さまざまな病気を防ぐために、改めて口腔ケアの重要性について再認識した研修会でした。



## 減塩ヘルシー

### クッキング教室

平成27年10月10日(土)創作工房ひみにおいて、「減塩ヘルシークッキング教室」が開催されました。このクッキ

ング教室は糖尿病委員会を中心に毎年開催されており、参加者の方から大変ご好評いただいています。

今回は、内分泌代謝科の永井貴子助教より「糖尿病と肥満」と題した講演が行われ、糖尿病についての知識を学び、調理実習では実際に調理することで工夫を凝らした調理方法を知ることが出来ました。

参加された方からは、「普段の食事がすごく塩辛いことに気付いた。健康に関して再認識できた。」「学んだ調理方法をとり入れて、食生活を見直していきたい。」「みんなで作って食べるこの機会がとても楽しかった。今後、薄味に気をつけたい。」「との感想が聞かれました。

この減塩ヘルシークッキング教室が、今までの食生活や日々の調理を見直すきっかけとなり、健康維持に役立ててもらいたいと思います。今後このような企画を続けていきたいと思



### 第3回

### 腎不全患者家族研修会

11月1日(日)に当院6階の多目的

ホールにて腎不全患者とその家族を対象に研修会が開催されました。この研修会は血液浄化センターが中心となり、他職種の協力のもと、約80名が参加しました。腎臓内科松浦医師より「カリウムについて」、川上ソーシャルワーカーより「家族の介護負担を軽減する支援」、腎臓内科 齋藤医師より「エンドオブライフを考える」が講演され、参加者は熱心に話を聞いていました。長谷管理栄養士からは「治療食の配布、試食とクイズ」と題し、一日に食べられるタンパク質60gを手ばかり(両手に乗せる目分量)で確認し、同時に行うたお寿司と乳酸菌飲料の試食も好評でした。守雅之理学療法士からは椅子に座りながら行う足の筋肉運動の指導を受け、一緒に練習しました。その後、患者と家族に分かれて交流会を開き、経験を語ったり、抱えている不安を話し合ったり、情報を共有しました。短い時間のなか楽しく研修会を行うことができ、今後さらに患者さん・ご家族に寄り添った腎不全看護に繋がっていききたいと思



## 病院からのお知らせ掲示板

### ● インフルエンザ予防接種

今年からインフルエンザワクチンは4価(A型2株+B型2株)に変更になり、料金が値上がりします。(昨年は3価 A型2株+B型1株) 一部公費負担で接種できる方は、期間中に接種することをお勧めします。詳しくは左記までお問い合わせください。

### 期間

平成27年度11月2日(月)～

12月25日(金)

月曜日から金曜日診療受付時間内  
問い合わせ先 医事課

0766-741-9000(代表  
内線1022)



### ● 年末年始休診について

12月29日(火)～1月3日(日)までの6日間は外来診療を休診します。

急病の場合は救急外来を受診してください。受診する際は、必ず健康保険証をご持参ください。

また、休日や夜間等の時間外は専門医師が少なく救急診療体制のため、緊急を要しない場合は通常の診療時間内に専門診療外来を受診されるようお願いいたします。



## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

## まちかど



## 情報

### 潮風ギャラリー

潮風ギャラリーは、今年8月にリニューアルオープンしました。氷見市出身の漫画家「藤子不二雄(A)」さんの代表作「忍者ハットリくん」や「怪物くん」などのモニUMENTやアートコレクションが多数展示してあり、懐かしさもありながら楽しい空間が広がっています。中でも「忍者ハットリくん 氷見を翔ぶ」の氷見海岸から見た立山連峰と唐島を背景にハットリくんとその仲間たちが大空を翔



んでいるイラストはとても迫力があります。空高い秋の日に、童心に戻れるこの空間と、街中にたくさんある藤子不二雄(A)先生の作品に触れる1日を送ってみませんか。

## インフルエンザ・感染性胃腸炎に注意

### ～マスクの自動販売機設置場所～

毎年、冬にはインフルエンザ・感染性胃腸炎の流行がみられます。発熱などでインフルエンザを疑い受診する場合は事前に症状を申し出てください。

感染予防や感染拡大防止のため、できるだけごみは避け、外出後の「手洗い・うがい」を心がけましょう。「せき」などの症状のある方は、周りの方へうつさないために、マスクを着用しましょう(咳エチケット)。また、症状がある時や疑いがある場合は、入院患者さんへの面会はなるべく控えてください。

当院ではマスクの自動販売機を、「エントランスホール・救急外来入口横・2Fエスカレーター横」に設置してありますので感染予防のためにもご利用下さい。



## 表紙について

上日寺の大イチョウは、大正15年に国指定の天然記念物に指定されています。幹周り12メートルもの太さがあり、富山県内の全樹木の中で第1位ともいわれています。この樹木は、昔から霊木として尊崇されており、垂れ下がっている数十本の乳柱(気根)を削り取り、母乳の出ない産後のお母さんが煎じて飲めば乳が出ると信じられていたそうです。現在でも10月末頃になると、多くの銀杏を実らせ、秋の味覚を楽しむことができます。

## 編集後記

今号の特集やトピックスの記事はどれも地域医療を題材にしています。各医療機関との連携強化や充実をはかることを目的に、医師、看護師、医療従事者が一同に会し、地域医療を効果的に進めるための討議が行われました。急性期治療をになう基幹病院として救命治療を行い、慢性期の治療はかかりつけ医の先生方と連携しながら治療を行う。その他、予防医学や健康管理を地域の医療・福祉機関全体で考えるチーム医療が必要となります。ところで、印象派を代表する画家クロード・モネ(1840-1926)は、晩年白内障を患いながらも、精力的に描き続けていました。画風は次第に色彩溢れ抽象化されていきます。現在の白内障治療は、進行を抑える点眼薬、進行した白内障には水晶体再建術を行います。片眼約10分～20分程度で済みます。病気は予防、早期発見、早期治療が重要です。気になる症状が続く場合は各担当科医師にご相談ください。

かけし秋号編集委員 松野 栄雄

## ■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。